



2024.03.06

報道関係各位

アストンマーティン ジャパン

## 史上最速のアストンマーティン Vantage フォーミュラ 1®の新公式 FIA セーフティカーに

- 先日発表されたばかりの新型アストンマーティン Vantage が、フォーミュラ 1®の公式 FIA セーフティカーとして先陣を切る
- スリリングなモデルである Vantage がフォーミュラ 1® STC サウジアラビア グランプリ 2024 で公式 FIA セーフティカーとしてデビュー、DBX707 は引き続きフォーミュラ 1® 公式 FIA メディカルカーを務める
- 特別仕様のアストンマーティンが、フォーミュラ 1®でこの安全に不可欠な役割を果たすのは、今シーズンで 4 度目となる



2024 年 3 月 5 日、ゲイドン（英国）：

アストンマーティンは 2024 年、これまで以上にドライバーにフォーカスした Vantage で、フォーミュラ 1®グリッドの最前線に革新をもたらします。世界のグランプリ™サーキットでモータースポーツの最高峰をリードするに相応しく、完璧にチューニングされ、特別に装備された新型 Vantage は、F1®の公式 FIA セーフティカーとして躍り出ます。

ハイパフォーマンスな **Vantage** 特別仕様車は、今週末に開催されるフォーミュラ 1<sup>®</sup> **STC** サウジアラビア グランプリ 2024 のフォーメーションラップで全 20 台の F1<sup>®</sup>マシンを先導した後、ピットレーン出口で待機します。そして、安全上の必要がある場合にはコースに出て、F1<sup>®</sup>レースのペースをコントロールする役目を果たします。

**Vantage GT3** レーサーと **AMR24 F1<sup>®</sup>チャレンジャー**という「スピードのブラザーズ」とともに 3 週間前に発表されたばかりの新型 **Vantage** は、純粋なパフォーマンスを讃える正真正銘のモデルであり、最大の自信をもって最高のスリルを提供するために設計されており、アストンマーティンの 111 年の歴史の中で最もダイナミックな時期を完璧に反映しています。

アストンマーティンのグローバルチーフブランド&コマーシャルオフィサーであるマルコ・マティアッチは、次のように述べています。「**Vantage** は、アストンマーティンブランドの真髄です。これまでで最も速く、最もドライバーにフォーカスした **Vantage** が、権威ある FIA フォーミュラ 1 世界選手権™でこのような重要な役割を担うことは、私たちにとって大きな誇りです。ブランド認知度という点で、F1<sup>®</sup>に匹敵するほどグローバルでエネルギッシュなスポーツシリーズは他にありません。F1 というスポーツとアストンマーティンとの自然な相乗効果により、レースファンは、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1<sup>®</sup>チームによる **AMR24** のサーキット走行だけでなく、当社の最もエキサイティングなパフォーマンスモデルである **Vantage** と、既に高い評価を受けている **DBX707** の 2 台もサーキットで見ることができます。」

ハンドビルドされた強力な 4.0 ツインターボ V8 エンジンを搭載した新型 **Vantage** は、この種のエンジンでは最速であり、従来モデルよりも 30% パワーが向上しているため、**Vantage** セーフティカーは常に素早く飛び出すことができます。公道走行可能な新型 **Vantage** の性能はこのようなすでに高いため、FIA セーフティカーとしての役割を果たすためのエンジンのアップグレードや冷却システムの変更、またブレーキ性能のアップグレードなどは必要ありませんでした。この役割のために生まれたクルマと言っても過言ではありません。

FIA セーフティカードライバーのベルト・マイレンダーは次のようにコメントしています。「アストンマーティン **Vantage** を運転でき、うれしく思っています。このクルマは素晴らしい血統を受け継いでおり、中でもこの最新モデルはこれまでで最速です。第一印象では、ハンドリングの向上とパワーの向上がすぐに感じられ、とても好感が持てました。私たちはコース上への出勤要請に迅速かつ安全に対応できるよう、高速で特化したマシンを必要としており、**Vantage** はこういった性能をしっかりと備えています。私は過去 3 シーズンにわたり **Vantage** のドライビングを楽しんできましたが、今回、新型 **Vantage** をいち早く運転し、世界最高峰のサーキットでそのパフォーマンスを存分に体験できることを幸せに思っています。」

アストンマーティンのポートフォリオの中で最もスポーティなモデルである新型 **Vantage** は、厳しいプロセスを経て、F1<sup>®</sup>の公式 FIA セーフティカーに選ばれました。サーキットで最大限のアタックを可能にするため、このユニークなマシンは床下のエアロダイナミクスをさらに追加・改良し、フロントスプリッターを延長してプロファイル化しました。また、ダウンフォースを強化するために、ビスポークによる特別なポジションに新しいリアウイングが取り付けられ、チューニング済みのガーニーフラップが装着されています。さらに、急速に冷却されるタ

イヤを装着した F1<sup>®</sup>マシンの先頭を走る際には、1 ミリ秒のパフォーマンス向上が重要となるため、FIA ライトバーには、新しいエアロプロファイリングも施されました。

Vantage セーフティカーの車内には、ドライバーと同乗者がそれぞれの役割を果たすためのシステムが多数搭載されています。市販車のシートはポールポジションシートに変更され、FIA セーフティカーのドライバーであるペルト・マイレンダーと同乗者が、高速でサーキットを走行する際も、しっかりと座席に固定されるようになっています。ビスポークのセンターコンソールには、FIA のシステムを操作するためのスイッチ類が装備されているほか、ライブのラップタイム、全マシンのコース上の位置、そしてリアビューカメラを表示するスクリーンも設置されています。機能的とはいえ、セーフティカーがアストンマーティンであることには変わりはありません。ブランドのレーシングカラーにちなんで、インテリアは独自のライムエッセンスのトリムで仕上げられています。

アストンマーティンのグループ最高技術責任者であるロベルト・フェデリは、次のように述べています。「Vantage に込められたすべての思い、すべてのアイデア、すべてのテクノロジー、そしてデザイナーによる創造のすべてが、F1<sup>®</sup>ファンの皆様にお楽しみいただけるようになりました。この新型モデルはすでに、これまでで最も速く、最もドライバーにフォーカスした Vantage であり、この特別な役割に最適なクルマです。今回 F1<sup>®</sup>の公式 FIA セーフティカー向けに仕様を変更する際、FIA の装備を追加する作業だけで済みました。もちろん、サーキットをアタックし、最新のウルトラ・ラグジュアリーなハイパフォーマンス・カーの能力を発揮できるよう、ロードカーにはないエアロも追加されています。」

Vantage セーフティカーと DBX707 メディカルカーは、今週末に開催されるフォーミュラ 1<sup>®</sup> STC サウジアラビア グランプリで 2024 年のデビューを飾る予定です。例年通り、Vantage、DBX707 とともに、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ 1<sup>®</sup>チームのマシンと同じ、アストンマーティン・レーシンググリーンをまとっています。

安全がこれほどスリリングに見えたことはないでしょう。

こちらのプレスリリースに関する素材は、下記よりダウンロード可能です。

<https://we.tl/t-UCwAeGtYTS>

#### **アストンマーティン・ラゴндаについて:**

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、

卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、DBS、DBXに加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、アストンマーティン初の世界でもっともスリリングで魅力的なハイパフォーマンス・バッテリー式電気自動車の2025年発売を目指しています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界56か国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



[www.astonmartin.com/media](http://www.astonmartin.com/media)

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda  
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific  
有澤 久美子

[kumiko.arisawa@astonmartin.com](mailto:kumiko.arisawa@astonmartin.com)

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 御園生資己：090-8063-7117

[astonmartin-pr@pjbc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pjbc.co.jp)